

松山東高校タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：高校生の視点で松山市を考える』 平成 29 年 2 月 14 日（火） 15：40～

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	大街道・銀天街周辺の駐輪場はあまり知られていないので、駐輪場の場所や空き具合がわかる掲示板の設置やアプリケーションなどをつくってはどうか。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>駐輪場の場所や利用時間は、駐輪場マップを作成し、市内全ての中学校、高校、大学に配布しているほか、市のホームページや広報紙などでお知らせしています。</p> <p>現在、大街道・銀天街周辺の駐輪場は10カ所あり、そのうち、市が運営する駐輪場は1カ所だけで、残りはそれぞれ運営する事業者が異なる民営の駐輪場です。</p> <p>今後、駐輪場の空き情報の提供については、各事業者の協力を得ながら、情報共有の仕方や表示方法など、他市の事例を参考に研究していきたいと思います。</p>	都市・交通計画課 中津 優 089-948-6421
2	公立の幼稚園を増やしたり、医療費助成制度の対象を中学校卒業までに延長することで子育てにかかる費用を軽減し、今以上に子育て支援を充実してもらいたい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>幼稚園は、保育所に比べ、預り時間が短いため、定員に対して、利用する子どもが年々減少している状況です。その反面、就労を希望する保護者などの増加によって、保育を必要とする子どもが多く、保育所では入園できない待機児童がいる状況です。</p> <p>そのため、幼稚園を増やすのではなく、既存の幼稚園から認定こども園への移行や、小規模保育事業の施設を増やすことで、保育の定員を拡充して、子育て支援を充実させていきます。</p> <p>現在、松山市では、小学校入学前までの子どもの通院医療費（自己負担分）と、中学校卒業までの子どもの入院医療費（自己負担分）が実質無料です。</p> <p>通院費の助成を中学校卒業まで拡大すると、新たに毎年約</p>	保育・幼稚園課 横山 憲 089-948-6872 子育て支援課 渡部 直城 089-948-6888

			<p>7億円が必要になるため、財源の確保が必要です。</p> <p>本来、こうした制度は、国が全国一律の制度として実施すべきであり、国や県などに対し現状を訴え続け、これからも要望していきます。</p> <p>なお、平成27年度には、母子家庭への医療費助成を父子家庭も対象に加え、支援を拡大しました。子育て世代への支援が重要なことは十分認識していますので、可能な支援策から順次取り組んでいきたいと思いをします。</p>	
3	<p>エコ通勤を推進するために、平日朝夕の電車とバスの運賃を安くし、本数を多くしてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、交通事業者に対して赤字路線の一部補助や、駅・バス・路面電車のバリアフリー化補助を行うなど、公共交通の路線維持や利便性の向上に努めています。</p> <p>市民の皆さんに、今よりも電車やバスに乗ってもらうことで、CO2削減など環境面で配慮できるとともに、交通事業者の赤字が減り、今後の公共交通の維持や増便の検討にもつながるため、できる範囲で構いませんので、公共交通を利用してもらいたいと思いをします。</p>	<p>都市・交通計画課 辻田 幸生 089-948-6479</p>
4	<p>松山市は企業の本社が少なく、就職先が限られるので、Uターンする学生が少ないと思う。そこで、松山市に大きな企業の本社を誘致してはどうか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>大企業を誘致することは、雇用や税収の増加などの面で、非常に重要なことです。</p> <p>松山市は、「通勤・通学時間の短さが日本一」「余暇時間の長さが日本一」「暮らしに必要なお店や病院の近さが日本一」など、いくつかの「日本一」があり、企業誘致や就職の際のメリットであると考えていますので、市内で働くことのメリットを市内外の方に知っていただくため、パンフレットの配布やホームページの作成など、周知に努めています。</p> <p>平成22年11月以降、市長自ら宣伝マンとなって売り込むトップセールスなどで、IT企業、コールセンターをはじめとした様々な企業を誘致し、市内外の企業33社の新設や</p>	<p>地域経済課 織田 太郎 089-948-6549</p>

			<p>増設を支援して、約229億円の設備投資と約550人の新規雇用を創出しました。(平成29年1月1日時点)</p> <p>これからも、市内で皆さんが働きたくるように、企業の誘致に加え、市内企業の増設や拡大を支援して雇用環境を整えていきますので、将来就職する時には、松山に住み続ける、あるいは松山に帰ってきていただければと考えています。</p>	
5	<p>松山市は住みやすい自治体ランキングで上位を占めているが、空き家の多い自治体ランキングでは愛媛県が2位でもある。空き家対策について聞かせてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>空き家は全国的な問題になっており、松山市も少子化や高齢化などで、老朽化した空き家が増加傾向にあります。</p> <p>本市では、空き家について、所有者自らが定期的に点検する適正管理、空き家化の予防、跡地利用の誘導など、様々な面から検討していますので、現在策定している空き家等対策計画を取りまとめる中で、専門家や関係団体、市民代表の方々と議論していきたいと思ひます。</p>	<p>住宅課 越智 博英 089-948-6787</p>
6	<p>「姉妹・友好都市サミット」を開催し、学生同士の交流が深められたらいいと思う。また、松山市で開催する際は、市内の移動手段として自転車を利用してはどうか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>姉妹・友好都市サミットは、これまでにない新しいアイデアだと思いますので、どんなことをやりたいかなど、皆さんの視点で、いろいろな意見を出し合い、提案してもらいたいと思ひます。それを基に、松山市でも実現の可能性や、費用対効果などを検討してみたいと思ひます。</p> <p>また、自転車の利用についても、自然と街が近いコンパクトシティ松山の魅力を世界の若い人たちに知ってもらえる良い機会になると思ひますので、サミットの開催と併せて検討したいと思ひます。</p>	<p>観光・国際交流課 上甲 亮介 089-948-6887</p>
7	<p>市内にサイクルステーションを設置することで、路上駐輪の削減や車による事故の減少に繋がると思ひます。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降	<p>サイクルステーションは、コミュニティサイクルとも呼ばれ、複数設置されたサイクルポート(専用の駐輪場)で共用の自転車を乗り降りすることができ、全国77都市に導入されており、公共交通の利用促進やまちなかの回遊性、自動車</p>	<p>都市・交通計画課 中津 優 089-948-6421</p>

		<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>からの転換に貢献しています。</p> <p>現在、松山市には、道後やＪＲ松山駅など４カ所のサイクルポートに５１台の観光レンタサイクルがありますが、それを拡大した形のコミュニティサイクルについて、市民等のニーズがあるかどうかを調査していますので、今後その調査結果を受けて、検討します。</p>	
8	<p>大学の学部を増設することで、県内大学への進学も進み、県外からの学生も呼び込むことができるので、松山市の人口減少に歯止めをかけ、人口を増やすことができると思う。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、これまでも愛媛大学社会共創学部や、聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科の新設の際に、要望書の提出や補助金の交付などの協力をしてきました。</p> <p>また、現在は、人口減少対策として、「大学等と連携した若者の流入・定着促進」を進めていますので、今後も大学等と連携し、進学先の選択肢を増やすことで多様な人材が集まるように、新たな学部・学科等の設置についても調査・研究をしていきます。</p>	<p>企画戦略課 生田 真太郎 089-948-6212</p>
9	<p>松山駅は老朽化が進み、活気がないように思う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>現在、ＪＲ松山駅周辺地区は、県庁所在地である松山市の「陸の玄関口」として５０万都市にふさわしい都市基盤の整備と魅力あるまちの実現に向け、愛媛県によるＪＲ予讃線の鉄道高架化と、松山市による土地区画整理事業・道路整備・景観整備などに取り組んでおり、平成３２年度の完成を目指しています。</p> <p>これらの事業によって、ＪＲ予讃線を挟む東西の市街地を一体化し、道路を整備することで松山駅へのアクセスの向上を図ります。また、駅前広場を拡張し、市内電車を駅前に引き込むと同時にバスやタクシー乗り場などを充実させ、駅の西側にも新たに駅前広場を設け、ＪＲ・市内電車・バスなどの相互乗り換えをやすくします。</p> <p>なお、ＪＲ松山駅舎については、土地・建物を所有するＪ</p>	<p>松山駅周辺整備課 片岡 泰広 089-948-6742</p>

			R四国から新しいまちにふさわしい駅となるよう計画を進めていると伺っています。	
10	公共交通の利用を促進するために、バスや郊外電車・特急列車の増便や地下鉄・新幹線の導入をしたらいいと思う。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>地下鉄は、松山市周辺の人口規模では運営が成り立たない状況ですので、松山市では、地域の特性を生かしながら、上下移動がなく高齢者等にやさしい、路面電車を活用したまちづくりをしていきたいと考えています。</p> <p>また、新幹線の導入は、関係市町等と協力して、これまでも行ってきた要望活動を継続していきます。</p> <p>なお、公共交通の増便については、伊予鉄道(株)とJR四国にご意見をお伝えし、以下の回答をいただきました。</p> <p>【伊予鉄道(株)の回答】</p> <p>「電車・バスの公共交通を利用される方は年々減少しており、今後も少子高齢化が進むことを考えると、さらに利用者は減少すると考えられます。現在も、電車・バスの運輸事業は赤字を抱えており、経営は厳しい状況です。</p> <p>安全に対する投資やサービス水準を維持したままでの増便や料金の値下げについては、相応の利用者の増加が見込まれない限り困難です。」</p> <p>【JR四国の回答】</p> <p>「通勤・通学の時間帯につきましては、弊社の保有する車両を最大限に活用して列車を設定しています。また、JR四国内はほとんどが単線のため、行き違いや追越しができる駅が限られていることから現在のダイヤとしていますので、ご理解いただければと思います。」</p>	都市・交通計画課 辻田 幸生 089-948-6479
11	松山市や愛媛県では自転車利用を推奨しているが、専用の自転車道があまりないので危険だと思	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中	松山市では、現在、「花園町通り」で自転車専用道の整備をしており、また、「中之川通線」や愛媛大学と松山赤十字病院の間の「市道鮎屋町護国神社前線」、JR松山駅高架化	都市・交通計画課 辻田 幸生 089-948-6479

	う。	<input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>に伴う「本町宝塔寺線」での整備についても、検討を進めています。</p> <p>なお、用地買収等が困難で専用道が設置できないところでは、自転車走行レーンのサイン表示を行うなど、安全で快適な道路空間をつくっていきたいと考えています。</p>	
12	駐輪場をバス停の近くに設置すれば、公共交通の利用者が増えると思う。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、郊外の鉄道の駅を改修する際に、鉄道事業者と連携して駐輪場の整備を進めており、最近ではJR三津浜駅や伊予鉄道の余戸駅、土居田駅で駐輪場の整備を行いました。</p> <p>また、バス停に駐輪場を設置するためには、歩道の幅が広い場所を必要としますので、今後は国道の管理者などと協議をしていきたいと思います。</p>	<p>都市・交通計画課 辻田 幸生 089-948-6479</p>
13	私立高校に通う生徒にも、自転車に乗る際はヘルメットの着用を義務化すべきだと思う。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>高校生のヘルメット着用を推進している愛媛県にご意見をお伝えしたところ、「平成29年3月から松山市内の私立高校2校が義務化となり、あと3校を残すだけとなっています。県内の私立高校でも着用の義務化が進んでいます。」と回答がありました。</p>	<p>都市・交通計画課 中津 優 089-948-6421</p>
14	女子生徒は夜道が暗い場所で危険を感じることもあり、また、道路が明るければ反射板を付けていない歩行者も見やすくなり、交通事故の減少にもつながるので、街灯を増やしてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>防犯灯は、暗くて危険な場所に町内会等が設置しています。</p> <p>松山市では、松山市防犯協会を通じて、防犯灯を設置する費用の助成をしており、町内会等では電気料金の支払など維持管理をしています。</p> <p>設置を希望する場所によっては、稲の発育不良が発生したり、家に近すぎると明る過ぎて夜眠れないという状況が起こることもありますので、夜道が暗くて街灯を設置してほしいと思われる具体的な場所を教えていただければ、設置できる</p>	<p>市民参画まちづくり課 村本 実紀 089-948-6736</p>

			<p>かどうか地元関係者などと協議したいと思います。</p> <p>なお、タウンミーティング終了後に教えていただいた場所については、点灯していなかった防犯灯がありましたので、管球を取替えし、現在は点灯しています。</p> <p>また、町内会に防犯灯の新設についてお願いしたところ、「町内会内で検討します」との回答をいただいています。</p>	
--	--	--	--	--